



TITLE:

目次・研究費・プロジェクト活動
・平成27年度博士論文・平成27年
度修士論文・平成27年度卒業論文
・執筆者紹介・投稿規程・奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

目次・研究費・プロジェクト活動・平成27年度博士論文・平成27年度
修士論文・平成27年度卒業論文・執筆者紹介・投稿規程・奥付. 京都
大学大学院教育学研究科紀要 2016, 62

ISSUE DATE:

2016-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209906>

RIGHT:

京都大学大学院 教育学研究科紀要

第62号

乳児期における発話知覚の機能およびメカニズムとその定型・非定型発達

乳児期の運動主体感の発達過程とその社会的機能

メイラ・レヴィンソンによる市民性教育

D.W. ジョンソンの協同学習論の検討

人口学リテラシー尺度の開発と分析

4-6 歳児における表情の理解と表出の発達の検討

原則としての「知る自由」の未確立期における図書館と社会的立場

図書館設立過程と地域社会

イギリスの法律専門職養成におけるプロボノの位置と役割

アメリカにおける「フレンチ・セオリー」受容の知識社会学的検討

体制移行に伴う高等教育の構造変容

CAP (Chinese Advanced Placement) プログラム担当教員の
養成制度の現状と課題

アラブ首長国連邦における外国大学分校の比較考察

バングラデシュの就学前教育における私立機関の展開

台湾における大学教員資格審査制度の変容

京都大学大学院 教育学研究科紀要 第62号

目 次

論 文：

乳児期における発話知覚の機能およびメカニズムとその定型・非定型発達…	今福 理博	1
乳児期の運動主体感の発達過程とその社会的機能……………	田中友香理	15
メイラ・レヴィンソンによる市民性教育……………	藤本 奈美	29
－その原理とカリキュラム－		
D.W. ジョンソンの協同学習論の検討 ……………	福嶋 祐貴	43
－「建設的な論争」に焦点を合わせて－		
人口学リテラシー尺度の開発と分析……………	子安 増生・野崎 優樹	57
4－6歳児における表情の理解と表出の発達の検討……………	栢田 恵	79
原則としての「知る自由」の未確立期における図書館と社会的立場……………	福井 佑介	93
－1950年代の図書館界の趨勢と有山崧の思想－		
図書館設立過程と地域社会……………	嶋崎さや香	115
－信濃図書館を例として－		
イギリスの法律専門職養成におけるプロボノの位置と役割……………	種村 文孝	129
－法と市民をつなぐ方途を探る－		
アメリカにおける「フレンチ・セオリー」受容の知識社会学的検討……………	佐々木基裕	143
体制移行に伴う高等教育の構造変容 …… 南部 広孝 ジャルガルサイハン ジャルガルマー 関口 洋平		157
－専門分野別学生数に着目して－		
CAP (Chinese Advanced Placement) プログラム担当教員の養成制度の現状と課題 …… 郭 暁博		183
アラブ首長国連邦における外国大学分校の比較考察……………	中島 悠介	197
－規制主体の多様化と分校の管理運営構造を中心に－		
バングラデシュの就学前教育における私立機関の展開……………	門松 愛	211
－KGスクールの多様性に着目して－		
台湾における大学教員資格審査制度の変容……………	廖 于晴	225
インドの大学教員資格における博士号の位置づけ……………	渡辺 雅幸	239
－アカデミックな称号と大学教員資格との関係に着目して－		
ベトナムにおける障害児への教育をめぐる政治的意図……………	白銀 研五	253
－関連法規での権利保障のあらわれ方に着目して－		
高等教育の「国際化」言説を構成する諸要素……………	全 京和	267
－日韓の政策ドキュメントを手がかりに－		
「暴力と形而上学」における他者と言語の問題 ……………	朱 燁	281
－教育哲学における「他者論」についての予備考察－		
達成されつつける「生き方としての民主主義」……………	西郷南海子	295
－ジョン・デューイの「信仰」(faith)に着目して－		
自我体験後の心理的過程に関する一考察……………	松波 美里	309

自閉症スペクトラム障害型の“リアリティのなさ”に関する文献展望……………	木村 大樹	323
精神分析的心理療法における美的体験の意義……………	上田 勝久	335
－ Meltzer,D. の美の理解をめぐって－		
「関係の相互性」についての精神分析的理解……………	村井 雅美	349
－ 他分野の「関係の相互性」研究を手がかりに－		
臨床的な相互作用の生起と活用をめぐって……………	佐藤 映	363
－ 非言語的交流とエナクトメントを中心として－		
心理臨床学における両義的な身体性についての一考察……………	篠田 亜美	375
青年期における自己の葛藤と家族機能との関連についての研究……………	児玉 夏枝	387
－ 対人恐怖の傾向・自己愛的傾向に着目して－		
女性の「見える身体」との関わりについての一考察……………	千葉 理未	401
－ 自らの身体に意識的に取り組む女性の語りから－		
心理臨床における沈黙の概念および沈黙研究の概観と展望……………	橋本真友里	415
パフォーマンス評価における項目反応理論を利用したアカデミック・ライティング力の測定 ……	斎藤 有吾	427

資 料：

研究費……………	441
プロジェクト活動	
教育実践コラボレーション・センター……………	445
博士論文……………	450
修士論文……………	451
卒業論文……………	454
執筆者一覧……………	457
京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規程……………	458

Functions and Mechanisms of Speech Perception in Infants and the Typical and Atypical Development	IMAFUKU Masahiro	1
Developmental trajectory and social function of the sense of agency in infancy	TANAKA Yukari	15
Exploration on the Concept and Curriculum of Levinson's Citizenship Education	FUJIMOTO Nami	29
Johnson's Cooperative Learning Theory: Focusing on the Position of "Constructive Controversy"	FUKUSHIMA Yuki	43
Development of a demographic literacy scale	KOYASU Masuo & NOZAKI Yuki	57
Development of understanding and production of facial expressions in 4 – 6 -year-old children	MASUDA Megumi	79
Distance between Libraries and Social Issues in the Early 1950s	FUKUI Yusuke	93
Library Establishment Process and Local Communities: Referring to Shinano Library in Nagano	SHIMAZAKI Sayaka	115
Pro Bono Legal Profession Education in the United Kingdom: Connecting the Law and Citizens	TANEMURA Fumitaka	129
Sociological Study of "French Theory" in America	SASAKI Motohiro	143
Changing Structures of Higher Education in Transition Countries: Case Studies from Russia, Mongolia and China	NANBU Hirotaka, JARGALSAIKAN Jargalmaa, SEKIGUCHI Yohei	157
Current Situations and Issues of Teacher Training System of Chinese Advanced Placement Program	GUO Xiaobo	183
Governance of International Branch Campuses in the United Arab Emirates	NAKAJIMA Yusuke	197
Private Sectors of Pre-primary Education in Bangladesh: Focusing on Diversity of Kindergarten Schools	KADOMATSU Ai	211
Changes in Faculty Qualification Assessment in Taiwan	LIAO Yuching	225

Ph.D. in India on the Relationship with Minimum Qualifications for Appointment of Academic Profession	WATANABE Masayuki	239
Political Intention in Vietnam behind the Educational Policy for Children with Disabilities: Focusing the Rights through Legal Documents	SHIROGANE Kengo	253
Essential Elements Forming the Discourse on Internationalization of Higher Education, Focusing on Japanese and Korean Policy Documents	JEON Kyoung-hwa	267
The issue of the other in “Violence and Metaphysics” : preliminary thinking on the theme of the other in Philosophy of Education	ZHU Ye	281
Achieving “Democracy as a Way of Life” : An Examination Focused on Dewey’s Concept of “Faith”	SAIGO Minako	295
Psychological process after Ego-experience	MATSUNAMI Misato	309
Review of Autism Spectrum Disorder-type of “Lack of Reality”	KIMURA Daiki	323
Significance of the Aesthetic Experience in Psychoanalytic Psychotherapy : on the Apprehension of Beauty of Meltzer.	UEDA Katsuhisa	335
Psychoanalytic Understanding of the Interrelationship between Therapist and Patient: Insights from Other Disciplines	MURAI Masami	349
The Emergent and Praxis in Clinical Sessions: Nonverbal Interaction and Enactment	SATOH Utsuru	363
The Study of the Ambiguity of Body at Clinical Psychology	SHINODA Ami	375
Relation between discord in adolescence and family function	KODAMA Natsue	387
Relationship between Woman and Body: Focusing on Behavior in Comprehending the Body	CHIBA Satomi	401
Concept of Silence and an Overview and Prospects of Related Research in Clinical Psychology	HASHIMOTO Mayuri	415
Measurement of Academic Writing Abilities Using Item Response Theory Analysis Based on Performance Assessment	SAITO Yugo	427

研 究 費

研 究 費

年月日	課 題 名	氏 名
2015.4.1	新学術領域研究（研究領域提案型） 周産期からの身体感覚と社会的認知の発達の関連性の解明に基づく障害理解	明和 政子
2015.4.1	新学術領域研究（研究領域提案型） 思春期における自己制御の発達と学校・社会適応との関連に関する行動遺伝学的研究	高橋 雄介
2015.4.1	新学術領域研究（研究領域提案型） 物語における時間情報に基づく視点取得メカニズム	米田 英継
2015.4.1	基盤研究（A） 21世紀市民のための高次リテラシーと批判的思考力のアセスメントと育成	楠見 孝
2015.4.1	基盤研究（A） 学校を中心とする教育空間における力動的秩序形成をめぐる多次元的研究	桑原 知子
2015.4.1	基盤研究（A） Understanding, measuring, and promoting crucial 21st century skills: Global communication, deep learning, and critical thinking competencies	Manalo Emmanuel
2015.4.1	基盤研究（B） 「メディア出身議員」調査による新しいメディア政治史の構想	佐藤 卓己
2015.4.1	基盤研究（B） 東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究	岩井 八郎
2015.4.1	基盤研究（B）一部基金 パフォーマンス評価を活かした教師の力量向上プログラムの開発	西岡加名恵
2015.4.1	基盤研究（B）一部基金 「新しい公共」枠組み下のソーシャル・ファイナンスを通じた教育資源調達手法の研究	高見 茂
2015.4.1	基盤研究（B）一部基金 日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究	渡邊 洋子
2015.4.1	基盤研究（B）一部基金 アジアの「体制移行国」における高等教育制度の変容に関する比較研究	南部 広孝
2015.4.1	基盤研究（B）一部基金 戦後日本の指導者の「ハビトゥス」形成と「界」の構造に関する実証的研究	稲垣 恭子
2015.4.1	基盤研究（B）一部基金 戦後東アジア諸地域における教育の比較史的分析—冷戦と植民地主義に着目して—	駒込 武
2015.4.1	基盤研究（B）一部基金 21世紀型コンピテンシー育成のためのカリキュラムと評価の開発	矢野 智司
2015.4.1	基盤研究（C） 共感の個人差を形成する文化・心理・生物学的要因に関する認知科学的研究	野村 理朗
2015.4.1	基盤研究（C） ケアとスピリチュアリティの教育人間学的解明 - 女性宗教者への聞き取り調査を中心に	西平 直

2015.4.1	基盤研究 (C) 学習アーキテクチャとしての「記憶空間」の形成原理および問題改善の研究	山名 淳
2015.4.1	基盤研究 (C) トランスナショナル高等教育と多国籍大学の展開に関する国際比較研究	杉本 均
2015.10.26	基盤研究 (C) 公立図書館という空間に関する歴史横断的研究	川崎 良孝
2015.4.1	基盤研究 (C) ＜レジリエントな個＞の育成とアメリカ実践哲学：哲学と教育のクロススケ レント研究	齋藤 直子
2015.4.1	基盤研究 (C) 教師の熟達とキャリア形成に関する日独比較研究 ―教師力としての教育的 タクトを軸に	鈴木 晶子
2015.4.1	基盤研究 (C) タイミング制御が支える音韻的作動記憶と長期音韻知識の相互作用	齊藤 智
2015.4.1	基盤研究 (C) 思考力・判断力・表現力育成のための長期的ループリックの開発	田中 耕治
2015.4.1	挑戦的萌芽研究 「夢の構造分析」に関する発達の・比較文化的・心理臨床的研究	田中 康裕
2015.4.1	挑戦的萌芽研究 学校改善に向けた「往還型」質的測定手法の開発的研究	服部 憲児
2015.4.1	挑戦的萌芽研究 文化装置としての「師弟関係」に関する歴史社会学的研究	稲垣 恭子
2015.4.1	挑戦的萌芽研究 自閉症スペクトラム障害をもつ青年および児童に対する日常生活スキル支援 の研究	米田 英嗣
2015.4.1	挑戦的萌芽研究 専門職教育者の IPE（異業種連携教育）基盤型研修プログラムの実践開発研 究	渡邊 洋子
2015.4.1	挑戦的萌芽研究 近代日本における流言効果のメディア史的研究	佐藤 卓己
2015.4.1	挑戦的萌芽研究 批判的評価能力と高次の心の理論および認知コストとの関連	マナロ エマニュエル
2015.4.1	研究活動スタート支援 ワーキングメモリにおける手続き的表象の制御メカニズムに関する実験心理 学的研究	佐伯恵里奈
2015.4.1	研究活動スタート支援 高等教育における改革の普及・拡大の促進 ―緩衝組織の形成と大学の質の 担保―	柴 恭史
2015.4.1	若手研究 (B) 小学校外国語活動において言語への関心を高めるための多言語カードの開発 と効果の検証	黒田 真由美

研 究 費

2015.4.1	若手研究 (B) 高等学校における教育資源配分の効率性および多元的な教育資源調達手法の検討	江上 直樹
2015.4.1	若手研究 (B) ナショナリズムと「文明的」自己像形成をめぐる現象の比較・歴史社会学的考察	竹内 里欧
2015.4.1	若手研究 (B) パーソナリティ特性の発達と健康の変化を統合的に理解するための縦断調査研究	高橋 雄介
2015.4.1	若手研究 (B) 高次の学力を育成する「教科する」授業の開発研究	石井 英真
2015.4.1	特別研究員奨励費 新生児期からの自己認識と他者理解に関する発達科学研究	今福理博
2015.4.1	特別研究員奨励費 情動知能が社会的排斥経験後の報復の抑制に及ぼす影響	野崎優樹
2015.4.1	特別研究員奨励費 共感が援助を導く機構の認知神経科学的検討	日道俊之
2015.4.1	特別研究員奨励費 乳児期における視－聴－触覚情報処理と言語獲得との関連についての実験心理学的検討	田中友香理
2015.4.1	特別研究員奨励費 アラブ首長国連邦のトランスナショナル高等教育による社会的インパクト	中島悠介
2015.4.1	特別研究員奨励費 バングラデシュにおける乳幼児のケアと教育 (ECCE) - 地域的視点からの再考 -	門松愛
2015.4.1	特別研究員奨励費 近代中国における生活作文教育の研究	鄭谷心
2015.4.1	特別研究員奨励費 戦前・戦後の郷土教育に関する歴史的考察－生活綴方・社会科との接点に着目して－	須永哲思
2015.4.1	特別研究員奨励費 日本統治下台湾の「植民地的開発」をめぐる研究－植民地権力と台湾人／在台日本人	清水美里
2015.4.1	特別研究員奨励費 実行機能向上に関わる認知科学的検討－デフォルトモードネットワーク調節の観点から－	梶村昇吾
2015.4.1	特別研究員奨励費 日本社会・文化の個人主義化に伴う不適応問題の解明	荻原祐二
2015.4.1	特別研究員奨励費 自発的啼泣の初期発達－音響的、生理学的解析および心理的指標からの検討	新屋裕太

2015.4.1	特別研究員奨励費 現代ミドルクラス移民に関する社会学的研究：アジアで就労する日本人の事例	松谷実のり
2015.4.1	特別研究員奨励費 戦後日本における生活綴方運動史の研究―実践現場における教育思想の生成過程	永田和寛
2015.4.1	特別研究員奨励費 若年層における成人期への移行の困難とその支援に関する社会学的研究	井上慧真
2015.4.1	特別研究員奨励費 『子どもの美術』とデューイ美的経験論の架橋：Lifeのための哲学と教育の融合研究	西郷南海子
2015.4.1	特別研究員奨励費 ADHDの抑制機能に及ぼす報酬と罰の効果	宮坂まみ
2015.4.1	特別研究員奨励費 米国における探究を中核に据えた科学教育に関する検討	大貫守
2015.4.1	特別研究員奨励費 ベトナムにおける特別なニーズをもつ子どもの教育環境：母親の意識を手がかりとして	白銀研五
2015.4.1	特別研究員奨励費 人種のカテゴリー知覚の個人差に関する認知科学的研究	栗山弥世
2015.4.1	特別研究員奨励費 インドにおける大学教員の資格―ルートの多様性に着目して	渡辺雅幸
2015.4.1	外国人特別研究員奨励費 偏見の発達とその進化的基盤の解明―比較認知科学のアプローチからの検討	明和政子
2015.4.1	外国人特別研究員（欧米短期） 課題目標と課題規則の保持における言語性作動記憶の役割	Matthew Henry IVESON

教育実践コラボレーション・センター
「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究を目指して」

〈活動概要〉

平成 19 年度から教育学研究科では特別教育研究経費（教育改革）による「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究推進事業」のプロジェクトが立ち上げられ、教育実践コラボレーション・センターとして、さまざまな活動をおこなってきている。

教育実践コラボレーション・センターの目的は、現場から持ち込まれた具体的な問題に対し、異分野融合チームを組織するなどして、教育学研究科としての組織的な対応をコーディネートすることにある。その際、子どもをめぐる教育問題の中心を「生命性を深めること」（心の問題）と「有能性を高めること」（学力問題）という 2 つの軸として取り出し、そのトータルな育成の方法を探る。また、教育研究におけるマクロ的アプローチ（教育制度学や教育社会学や比較教育学）とミクロ的アプローチ（認知心理学や心理臨床学や教育哲学）を統合しつつ研究を進めている。

平成 25 年度からは科学研究費補助金（基盤研究 A）が採択され、「学校を中心とする教育空間における力動的秩序形成をめぐる多次元的研究」を課題とし、活動している。現在、校内暴力、不登校、学級崩壊、いじめなどの報道が毎日のようにみられる。そしてこれらは、学校教育の秩序を揺るがす問題だと定義され、それへの対応として、秩序から逸脱した人や状態をどのように秩序の中に回収するのか、乱れた秩序をどのように再び平衡に戻すのかということが考えられてきた。しかしながら現在、この前提が崩れはじめ、学校のみならず、地域・社会、家庭においても、これまでの秩序にもどせばいい、という発想ではうまくいかなくなっているのが現状ではないだろうか？グローバル化や電子メディア空間の影響もあって、既存の秩序への再編という戦略がもはや無効になっていると言っても過言ではないように思う。そこで、今回の研究課題においては、学校、地域・社会、家庭、電子空間といった複数の空間での人々の相互作用の在り方を解明し、秩序のゆらぎがどのようなものであるかを明らかにするとともに、その中で、どのような秩序が動的に、新たに、立ち上がってくるのかということを探求しようと考えている。

本年度は、①学校改善プロジェクト、②不適応対応プロジェクト、③家族研究プロジェクト、④グローバル化対応プロジェクト、⑤交流空間プロジェクトの 5 つのプロジェクトチームを編成し、専門を異にする研究者がともに、解明→関わり→新たなデザインというアクションリサーチを行いながら、コラボレーションユニットで全体の議論を重ねてきた。また、教育実践コラボレーション・センターの一組織である E.FORUM（教育研究開発フォーラム）は、現職教員の力量向上のために、研修やセミナーを提供するとともに、学校現場の課題解決に資するための研究開発を推進するネットワーク構築をめざしている。

〈講演会・シンポジウム・ワークショップ〉(2015年4月1日～2016年3月31日)

第13回 知的コラボの会

「モダンガールの戦後—石垣綾子という人—」

- 日時：2015年5月7日(木) 13時～15時
- 会場：京都大学教育学部本館1階 第1会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：稲垣恭子(京都大学)

第14回 知的コラボの会

「世界神話の中の日本神話— 比較神話の立場から日本の神々の解釈 —」

- 日時：2015年5月28日(木) 13時～15時
- 会場：京都大学教育学部本館1階 第1会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：シャロンドン・エミリア(京都大学研究員)

第15回 知的コラボの会

「指導要録改訂史にみる教育評価観の変遷」

- 日時：2015年7月9日(木) 13時30分～15時
- 会場：京都大学総合研究2号館 第8演習室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：田中耕治(京都大学)

E.FORUM 教育研究セミナー

【第1部】京都大学 COCOLO 域共催『高校生と大学生の探究成果ポスター発表会』

【第2部】シンポジウム『高等学校における探究の評価』

- 日時：2015年8月1日(土)

第1部 10時30分～12時30分/ 第2部 14時30分～17時

- 場所：京都大学吉田キャンパス人間・環境学研究科 大講義室(B23)
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 講師：第1部／大杉住子(文部科学省)、塩澤幸雄(国立研究開発法人科学技術振興機構)、北野正雄(京都大学理事)、高見茂(京都大学理事補)、桑原知子(京都大学)、服部憲児(京都大学)
第2部／佐藤哲也(高松第一高等学校)、村井昂介(京都市立堀川高等学校)、大貫守・福嶋祐貴・次橋秀樹・徳島祐彌・中西修一朗・本宮裕示郎(京都大学大学院生)、西岡加名恵(京都大学)、石井英真(京都大学)

E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修

- 日時：2015年8月22日（土）、23日（日）
- 会場：京都大学人間・環境学研究科棟 地下1階 大講義室（B23）
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 講師：平田オリザ（東京芸術大学）、鋒山泰弘（追手門学院大学）、小山英恵（鳴門教育大学）、赤沢真世（大阪成蹊大学）、八田幸恵（大阪教育大学）、子安増生（京都大学）、杉本均（京都大学）、大山泰宏（京都大学）、西岡加名恵（京都大学）、石井英真（京都大学）、北原琢也（京都大学非常勤）、大貫守（京都大学大学院生）

第16回 知的コラボの会

「複雑系からみた心理臨床」

- 日時：2015年9月16日（水）17時～19時
- 会場：京都大学教育学部本館1階 第1会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：廣瀬幸市（愛知教育大学）

ワークショップ

「減災の集いー地震に備える」

- 日時：2015年10月3日（土）13時30分～17時
- 会場：旧野殿童仙房小学校（京都府相楽郡南山城村童仙房）
- 主催：野殿童仙房生涯学習推進委員会、教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：小滝篤夫（京都府立大学）

ワークショップ

「InterProfessional（多職種連携・異業種交流）からプロフェッショナルリズムを考える
ー木に関わる専門職の協業を手がかりにー」

- 日時：2015年10月18日（日）10時30分～17時
- 会場：京都大学芝蘭会館別館 研修室2
- 主催：関西 IPE 研究会、教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：一瀬章弘（京北銘木生産協同組合）、藤井俊二（（有）Run 設計集団）
荒木勇（（株）アラキ工務店）

コメント：川村和美（シップスヘルスファーマシー東日本）

渡川智子（ヴァンジ彫刻庭園）

コーディネイト： 渡邊洋子（京都大学）、角山香織（京都大学）、奥藺淳二（海上保安大学校）、佐伯知子（大阪総合保育大学）、種村文孝（京都大学大学院生）

第 17 回 知的コラボの会

「パラダイム破壊型イノベーション入門ー未来ビジョンをデザインするイノベーション・ソムリエのために」

- 日時：2015 年 10 月 22 日（木）10 時～12 時
- 会場：京都大学教育学部本館 1 階 第 1 会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：山口栄一（京都大学）

野童いなか塾「大人と子どもの地学教室」

- 日時：2015 年 10 月 31 日（土）13 時 30 分～16 時
- 会場：旧野殿童仙房小学校（京都府相楽郡南山城村童仙房）
- 主催：野殿童仙房生涯学習推進委員会、教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：小滝篤夫（京都府立大学）

高大連携交流プログラム（京都府立北桑田高等学校）

「まちおこしワッショイ～北高生と京大生でふるさとのこれからを thinking～」

- 日時：2015 年 11 月 11 日（水）13 時 30 分～16 時
- 会場・協力：京都府立北桑田高等学校
- 主催：COC「COCOLO 域」（生涯教育学講座渡邊洋子研究室）
教育実践コラボレーション・センター

北京師範大学・京都大学院生学術交流 2015

- 日時：2015 年 11 月 23 日（月）～25 日（水）
- 場所：北京師範大学
- 主催：中国・北京師範大学教育学部、教育実践コラボレーション・センター

生涯学習講演会

『「学問」の世界へのいざない』

- 日時：2016 年 2 月 21 日（日）13 時 30 分～16 時
- 会場：旧野殿童仙房小学校（京都府相楽郡南山城村童仙房）
- 主催：野殿童仙房生涯学習推進委員会、教育実践コラボレーション・センター
- 講師：高野秀晴（仁愛大学）

公開シンポジウム

「新しい学校のかたちを考える ―学校を問い直す子どもたち―」

- 日時：2016年3月26日（土）15時～17時30分
- 会場：京都大学医学部芝蘭会館2階 稲盛ホール
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：須崎貫（京都市立洛風中学校）、小泉隆平（京都府立清明高等学校）
コメント：広井良典（千葉大学）、司会：桑原知子（京都大学）

公開シンポジウム

「新しい家族のかたちを考える ―家族を問い直す子どもたち―」

- 日時：2016年3月27日（日）10時～12時
- 会場：京都大学医学部芝蘭会館2階 稲盛ホール
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：藤田智（京都家庭裁判所）、木村敦子（京都大学）
コメント：西平直（京都大学）、司会：桑原知子（京都大学）

平成 27 年度 学位（博士）授与者及び題目一覧

課程博士 ※平成 28 年 3 月授与まで

氏 名	論 文 題 目
菱 田 一 仁	心理臨床における人形の存在意義と役割に関する研究 －人形遊びの心理臨床－
広 瀬 悠 三	カントにおける世界市民的地理教育の人間形成論的意義の解明 －経験的働きかけとしての教化の基底性に着目して－
林 子 博	森有礼文政期の徳育構想とその射程 －文部省編纂「倫理」科教科書をめぐる論争空間－
駒田(馬場)智子	タイの人権教育の理論・政策・実践に関する研究 －人権の歴史のおよび地域的変遷の分析－
中 山 真 孝	言語における系列順序情報処理の諸問題： クラスタリング，文脈弁別，時間的距離，および両端性
蔣 妍	大学生の授業外学習を促す要因に関する検討 －授業内・授業外学習観に着目して－
鄭 谷 心	近代中国における国語教育改革に関する研究 －白話文教育方法論史の視点から－
三 野 和 恵	宣教師キャンベル・N・ムーディと台湾基督長老教会 －文脈化するキリスト教の軌跡
柴田(竹腰)千絵	高等教育におけるチュートリアル の 伝 播 と 変 容 －イギリスからオーストラリアへ－
若 佐 美奈子	無意識的空想への治療者の影響に関する心理臨床研究 －女性治療者の妊娠・出産に注目して－
野 崎 優 樹	情動コンピテンスの成長と機能に対する社会的認知理論からのアプローチ
坂 田 真 穂	ケアを職業とすることがもつ心理臨床の意味 －看護師の心理的疲弊とその支援から－
隼 瀬 悠 里	フィンランドにおける教員養成の高度化に関する研究
日 道 俊 之	共感が援助行動を促進する心理・神経・遺伝的メカニズムの検討
中 藤 信 哉	心理臨床における居場所
伊 達 平 和	現代アジアにおける家族意識の比較社会学 －東アジアならびに東南アジア7地域の調査研究－
山 本 はるか	現代米国における言語教育の理論と実践 －文化的多様性を踏まえた学力保障 の追求－

修士論文題目一覧

氏 名	論 文 題 目
伊 川 美 保	食品放射能リスクの理解と態度形成 － ニューメラシーと情報デザインの効果 －
加 藤 さゆり	インドの初等教員養成からみるウルドゥー語教育 － デリーの県教育研究所（DIET）を事例に －
笹 山 幸 子	公立学校における若手女性管理職候補者の発掘及び育成策 － 公立高校女性管理職のキャリアパスの考察を通して －
竹 村 知 樹	アマルティア・センの正義論における他者との関わり － 「共感」および「コミットメント」概念の検討を中心に
松 本 匡 平	林竹二の授業論 － 思想形成過程と実践に注目して －
望 月 実	国分一太郎の生活綴方論に関する一考察 － カリキュラム構想を読み解く －
谷 野 希	1920-30 年代静岡県における高等女学校と地域社会
山 田 勉	学生参加による高等教育の質保証 － ボローニャ・プロセスにおける＜消費者としての学生＞の考察を中心に －
山 本 弥 佳	他者の社会的随伴関係が乳児の模倣学習に与える影響
植 村 温 子	スペインの公立校における外国語教育の新動向 － マドリッド州の CLIL 実践に焦点をあてて －
松 尾 大 地	戦後日本における「社会人」表象の変化に関する社会学的研究
森 野 寛 史	「農」ブームから読みとく仕事観・人生観の変容 － 「農業経営本」の言説分析 －
中 山 光 正	学校史の変遷からみる高校間の進学格差とその受容 － 三重県南部の県立伝統校を事例として －
森 田 悦 充	生の技法と教育 － シュスターマンの身体感性論を手掛かりに －
河 原 徳 恵	幼児期における向社会的行動の認知的基盤： 情動的、認知的共感との関連から
河 村 悠 太	利他行動に及ぼす評判と社会的規範の影響
木 下 翔太郎	ポスト工業化社会における雇用構造二極化仮説の検討 － バブル崩壊以降の日本社会に着目して －
園 部 香 里	高等教育進学率の停滞期と上昇期における都道府県間格差の分析
橘 堇	『武士の娘』の読者たち － ある女性教養人の受容に関する社会学的分析
次 橋 秀 樹	A.D.C. ピーターソンのカリキュラム構想についての一考察 － シックス・フォーム改革案から国際バカロレアへの展開 －

徳 島 祐 彌	現代アメリカにおける体育理論に関する一考察 －ダリル・シーデントップの所論を中心に－
中 西 修一朗	海後勝雄のカリキュラム論に関する一考察
西 村 優美子	心拍変動バイオフィードバックが母親のストレス反応に及ぼす影響 －心理・生理指標からの検討
花 田 史 彦	映像メディア史における「大衆」概念のゆらぎ －映画評論家・岩崎昶の再定位から－
藤 野 正 寛	集中瞑想と洞察瞑想の神経基盤 －fMRIを用いた大脳基底核・皮質間の機能的結合性の検討－
本 宮 裕示郎	T.H. ハクスリーの教養概念に関する検討 －19世紀イギリスの自由教育論争を手がかりに－
松 井 桃 子	大学生の学業適応感とキャリア意識の関連性 －適応過程におけるコーピング方略に着目して－
柳 岡 開 地	プランニングと実行機能がスクリプトの柔軟な実行に及ぼす影響の発達の検討
山 本 英 実	乳児の行動に対する母親の応答性の個人差 －行動・心理・生理学的指標からの検討
孟 凡	中国における流動児童と移民教育 －北京における農民工子女の教育実態を中心に－
笹 川 果央理	メンタルヘルス不調による休職者の自己価値の随伴性
柴 田 彩 花	中学生における実存的自己と関係的自己
杉 村 美奈子	若年性乳がん患者のアイデンティティの危機と発達 －乳がん患者会との関わりの観点から－
曾我部 和 馬	マイノリティと「強い個」: スタンリー・カベルの「エマソンの道徳完成主義」を通じて
土 井 将 人	三木清における「構想力の論理」 －人間存在の生の根拠をめぐる－
中 峯 春 佳	孤独感における創造的側面の検討 －美術系作家へのインタビュー調査を通して－
永 渕 祥 可	聴こえにくい子をもつ母親の語り －子育て過程における体験の様相－
西 珠 美	描画を通してみる思春期における身体の在り様について
藤 原 智 之	高齢期(70代)男性の自己概念とアイデンティティ感覚
細 川 佳 葉	青年期の両親イメージと友人関係における「難しさ」 －ロールシャッハ法による分析を中心に－
森 亘	笑い、成熟としての侵犯 －価値論としてのジョルジュ・バタイユ－
森 田 一 尚	「周縁性」とエーリッヒ・フロムの人間形成論

平成27年度修士論文

山 崎 基 嗣	心理面接における声とその意義
方 建 欽	学校現場における教師と心理臨床家の「視点」について －台湾の輔導教諭に注目して－
割 田 秀 平	「川」のない風景構成法 －変法からみた「川」の意義の検討－

卒業論文題目一覧

氏 名	論 文 題 目
池 川 正 明	アジア・太平洋戦争における学徒兵の死生観 －帝国大学出身兵士の事例を中心に－
石 田 洋 輔	数学教育における生活の位置付け －数教協と数実研の論争点を手がかりにして－
市 川 和 也	田中寛一による入試改革構想の意義と課題
岩 崎 泰 樹	塩野直道の算数教育論に関する検討
大 橋 早世加	母親との身体接触が乳児の探索行動に与える影響
梶 原 駿	デュイ経験概念における相互作用に関する考察 －「依存性」という言葉に注目して－
北 井 瑠 美	男子大学生の子育て意識に関する実証的研究 －個人差に関連する要因の検討
木 村 公 美	自閉症者における字義通りでない言語表現の理解
佐 藤 優 里	子ども向け絵本と時間の体験 図像表現の歴史的考察を通して
東 山 晃 輔	幼児期における内集団バイアス －社会的相互作用の観察経験が与える影響－
鳥 原 悠 人	現代における道徳性陶冶の可能性 －高野山真言宗の行をてがかりに－
成 戸 洋 介	自己の育児映像のフィードバックが母親の育児自己効力感に与える影響
西 井 拓	ヴァーチャル空間でのコミュニケーション －変容するいじめのかたち－
西 田 隼 人	語彙学習における「かかわり度假説」の検討
平 林 禄	映画の演技における即興性と一回性についての考察
松 永 倫 子	母親の身体感覚の個人差からみた乳児の情動表出に対する敏感性
松 本 滉 平	板倉聖宣の「たのしい授業」論に関する一考察
山 浦 孝 一	宇宙教育を通じた科学教育の課題改善と今後のゆくえ
藤 井 亮	路地における遊びに関する研究 －「中間領域」の思想を通じて－
森 本 和 寿	友納友次郎の綴方教授論に関する考察 －随意選題論争を手がかりとして－
小 貝 七 海	「自らを傷つける行為」における身体 －儀礼をめぐる論考を手がかりに－
小須田 太 紀	学級集団づくり論の変遷 －全国生活指導研究協議会の諸論に注目して－
中 村 優 士	共感性および行動特性についての比較文化研究 －日本とブータンの高校生を対象として
細 田 佳 澄	愛玩動物との相互作用と飼い主の愛着感情の関係について

大 澤 尚 也	青年期の離人感と親との外的・内的関係： 質問紙と TAT を用いた調査研究
大 津 尚 子	曖昧表情への敵意帰属傾向に影響する要因の検討
大 橋 由紀子	ワーキングメモリの負荷がマインドワンダリングの生起におよぼす影響について
加 藤 雅 規	畏怖の念による自他表象と行動の変容
北 島 美 花	自尊感情の高低が感情予測に及ぼす影響
近 藤 千恵子	キャラクター認知におけるベビースキーマ効果
武 内 優 和	大学生における人間関係上の幸福感と不幸感の構造
所 歩 美	自己嫌悪感と自己変容との関係について －質問紙と TAT を用いて－
西 端 和 志	青年における同性愛への嫌悪を仮想接触によって緩和する方法について
西 山 慧	意図的な想起の抑制が注意選好に及ぼす影響
益 山 三 枝	発達障害のある子どもの家族との関わりプロセス －援助者への面接調査を通じた検討－
松 本 大 輝	視覚的ワーキングメモリにおける情報の保持・忘却に対する イメージ生成の影響
文 山 知 紗	即興的描線に表現されていること －なぐり描きに関する臨床心理学的考察－
溝 口 侑	就職活動を通じた自己イメージの変容について
石 垣 将	現代青年の仮想的有能感について
田 村 明日香	新たなオクノフィリア・フィロバティズム尺度作成の試み Balint の理論に基づく再開発
豊 原 響 子	青年期の身体性と自我同一性の関係をめぐって
池 田 賢 人	大阪府の進学指導特色校の考察 －東京都の進学指導重点校と比較して－
磯 辺 菜 々	絵本に描かれる「友情」イメージと友情至上主義の社会的分析
岩 本 峻	日本におけるライブハウスの拡大とその意味
小保内 太 紀	「現実の社会的構成」の再構成 －P・L・バーガーの日常世界論を中心に－
木 村 理 子	アメリカのスクールカウンセラーと教員の連携に関して －多重支援モデルを中心に－
桑 原 綾	中国における就学前教育政策の展開
小 林 亜 季	若者の働き方と幸福感
清 水 太 基	義務教育学校制度の活用可能性に関する一考察 －地域活性化の視点から－
清 水 大 地	名門私立男子校の差別化と生き残り戦略
白 井 皓 大	宿泊施設における交流と学び －ゲストハウスの場づくりに注目して－
菅 谷 尚 平	子ども・子育て支援新制度のゆくえ －ドイツの福祉制度と比較して－

殿内海人	フィリピンにおける NGO によるノンフォーマル教育について － ABAKADA による就学前教育を中心に－
難波崇文	大学設置認可行政の執行過程 － 窓口指導に焦点をあてて－
二宮奈央	「おひとりさま」言説の誕生と変容
灰谷圭史	学力の都道府県間格差の分析 － 小学校 6 年生から中学校 3 年生への変化に注目して－
長谷川陽平	神奈川県と神奈川朝鮮学園の補助金を巡る交渉過程に関する考察
馬淵拓真	特撮ヒーロー番組の世代的受容と変化 － 仮面ライダーシリーズを事例として－
三橋亮太	日本の聖地としての東京ディズニーリゾート － 高揚感を生み出すしかけと空間的配置の社会学的分析－
安井あやめ	日本における「友達親子」像の転換 － 対話型から消費型へ－
山本啓祐	台湾の高等教育における質保証の展開 － 教育評価を中心に－
山本健太	ポスト近代型能力と家庭教育をめぐる言説分析 － 受験期の子どもを持つ親に注目して－
佐野和子	日本の女子大学： 1980 年代以降の持続と変化についての分析
岩城光	近代家族のゆらぎと父親の居場所 － 『家族ゲーム』の変容から
沖元俊樹	スポーツ選手の育成とキャリアをめぐる現状と課題 － 野球選手を中心に－
川上莉菜	ソーシャルメディアにおける自己表出に関する社会学的考察
境駿	現代の「若者論」の社会学的分析
迫那津美	アントレプレナーシップ教育の国際動向 － 日本とアメリカを中心に－
松村侑香	鶴見俊輔における悪人意識の社会学的分析
高島哲之	戦後草創期の京都大学における「自由の校風」に関する一考察 － 鳥養利三郎を中心として－
小林基信	昭和期経済人と教養主義 － 海運産業経営者層の事例から

執筆者紹介

執筆者紹介（執筆順）

今 福 理 博	日本学術振興会特別研究員 教育方法学講座 博士後期課程 3 回生
田 中 友香理	日本学術振興会特別研究員 教育方法学講座 博士後期課程 3 回生
藤 本 奈 美	教育方法学講座 博士後期課程 2 回生
福 嶋 祐 貴	教育方法学講座 博士後期課程 1 回生
子 安 増 生	教育認知心理学講座 教授
野 崎 優 樹	日本学術振興会特別研究員 教育認知心理学講座 博士後期課程 3 回生
枡 田 恵	教育認知心理学講座 博士後期課程 1 回生
福 井 佑 介	生涯教育学講座 助教
嶋 崎 さや香	生涯教育学講座 博士後期課程 2 回生
種 村 文 孝	生涯教育学講座 博士後期課程 1 回生
佐々木 基 裕	教育社会学講座 博士後期課程 2 回生
南 部 広 孝	比較教育政策学講座 准教授
ジャルガルサイハン ジャルガルマー	比較教育政策学講座 修士課程 1 回生
関 口 洋 平	神戸大学教育推進機構 日本学術振興会特別研究員
郭 暁 博	比較教育政策学講座 博士後期課程 2 回生
中 島 悠 介	日本学術振興会特別研究員 比較教育政策学講座 博士後期課程 3 回生
門 松 愛	日本学術振興会特別研究員 比較教育政策学講座 博士後期課程 2 回生
廖 于 晴	比較教育政策学講座 博士後期課程 3 回生
渡 辺 雅 幸	日本学術振興会特別研究員 比較教育政策学講座 博士後期課程 3 回生
白 銀 研 五	日本学術振興会特別研究員 比較教育政策学講座 博士後期課程 2 回生
全 京 和	比較教育政策学講座 博士後期課程 1 回生
朱 燁	臨床教育学講座 博士後期課程 3 回生
西 郷 南海子	日本学術振興会特別研究員 臨床教育学講座 博士後期課程 1 年
松 波 美 里	心理臨床学講座 博士後期課程 2 回生
木 村 大 樹	心理臨床学講座 博士後期課程 1 回生
上 田 勝 久	臨床実践指導学講座 博士後期課程 1 回生
村 井 雅 美	臨床実践指導学講座 博士後期課程 2 回生
佐 藤 映	臨床心理実践学講座 博士後期課程 3 回生
篠 田 亜 美	臨床心理実践学講座 博士後期課程 2 回生
児 玉 夏 枝	臨床心理実践学講座 博士後期課程 2 回生
千 葉 理 未	臨床心理実践学講座 博士後期課程 3 回生
橋 本 真友里	臨床心理実践学講座 博士後期課程 1 回生
斎 藤 有 吾	日本学術振興会特別研究員 高等教育開発論講座 博士後期課程 3 回生

※投稿論文数は 38 件、うち 30 件の論文を採択した。

京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規程

(1) 投稿資格

単著論文の場合、執筆者は、本研究科教員・研修員および博士後期課程1年次以上の大学院生とし、院生については少なくとも指導教員1名の推薦のある者に限る。

上記の資格をもつ者が年度途中で身分を変更した場合にも、少なくとも前期に在籍すれば、投稿資格をもつ。ただし、身分変更を速やかに届けて、変更後にも紀要編集委員会と連絡が取れる状態にあることを条件とする。以上の条件を満たさない場合には、投稿資格を失う。

共著論文の場合、本研究科教員が第1著者となり、学内外の研究者（修士課程1年次以上の大学院学生を含む）を共著者とするものに限る。

(2) 内容

原稿の内容は未発表の学術論文とする。

(3) 使用言語

原則として自由。ただし、外国人留学生は日本語で投稿すること。

(4) 原稿枚数

A4用紙で1枚当たり「42字×38行」とし、教員および共著論文は25枚（本文24枚＋アブストラクト1枚）、院生論文は13枚（本文12枚＋アブストラクト1枚）を上限とします。外国語論文の枚数もこれに準じます。

(5) 投稿要領

投稿に際しては、執筆注意事項指定の書式に従い、原稿の他にコピーを2部添え、締切日までに指定された提出先に提出のこと。なお電子メールで論文の電子データを合わせて提出すること。

また、英文タイトルおよび200語程度の英文アブストラクトをつけること。

(6) 投稿・問い合わせ先

紀要編集委員会。

(7) 原稿の掲載の可否

原稿の掲載の可否については、学外の専門家を含む複数の審査委員による査読を元に紀要編集委員が決定する。

(8) 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権は本研究科に属する。

編集委員 杉 本 均 山 名 淳

高 橋 靖 恵 橋 本 敦 史

編集事務 福 島 由里子 田 中 哲 平

平成28年 3 月25日 印刷

平成28年 3 月31日 発行

発行人 京 都 大 学 大 学 院 教 育 学 研 究 科
代 表 者 子 安 増 生

印刷所 株 式 会 社 北 斗 プ リ ン ト 社
〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
TEL (075) 791-6125

発行所 京 都 大 学 大 学 院 教 育 学 研 究 科
京都市左京区吉田本町

Kyoto University Research Studies in Education

No. 62

Contents

インドの大学教員資格における博士号の位置づけ

ベトナムにおける障害児への教育をめぐる政治的意図

高等教育の「国際化」言説を構成する諸要素

「暴力と形而上学」における他者と言語の問題

達成されつつける「生き方としての民主主義」

自我体験後の心理的過程に関する一考察

自閉症スペクトラム障害型の“リアリティのなさ”に関する文献展望

精神分析的心理療法における美的体験の意義

「関係の相互性」についての精神分析的理解

臨床的な相互作用の生起と活用をめぐる

心理臨床学における両義的な身体性についての一考察

青年期における自己の葛藤と家族機能との関連についての研究

女性の「見える身体」との関わりについての一考察

心理臨床における沈黙の概念および沈黙研究の概観と展望

パフォーマンス評価における項目反応理論を利用した

アカデミック・ライティング力の測定